



小田 瑞葵 おだ みずき

千葉県立市川工業高等学校 建築科

まちをめくる、まちをめぐる

~街の回遊性を高める空地的建築群~

御茶ノ水の街をめぐって見えたものは『楽器街』だ。 御茶ノ水の楽器街をめくって見えたものは『回遊性』だ。 お茶の水・神田地区は、楽器、古本、CD、カレー、スノー ボードやそのほかにもたくさんのお店が存在する。趣味に 特化した素晴らしい街である。しかし、それらが個々で存 在し、うまくいかされていない。現状の街の下に隠れてい る素晴らしいストックを、出現させるためにめくってみた。

楽器屋さんが点在するお茶の水の街をさらに魅力的なま ちにするために、「街をめくる」をコンセプトした5つ の小さな建物を挿入する良作である。軽音楽部のバンド マンとして、お茶の水の楽器屋さんをめぐる自らの経験 に基づき、どうすれば「街を回遊する面白さ」をさらに 強化できるかを考え、カタチに昇華させている。まちの スケール感に調和させるデザインを展開しており、高校

生ながら都市空間に対して「建築に何ができるのか」を きちんと考えており、素晴らしい。



審查員: 関谷 和則

